

コイス デジタル トランスファー アダプター

KOIS DIGITAL TRANSFER ADAPTER



コイス デジタル トランスファー アダプター (KDTA) は、3D プリントされたスタディキャストをパナデント咬合器に石膏なしで装着を可能にします。

・コイスシステムの100mm軸切縁間距離に基づいています。

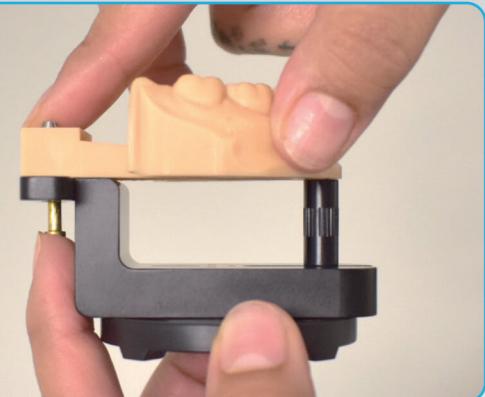
パナデント咬合器 PSH、PCH、マグナスプリットシステムと互換性があります。

使用可能なソフトウェア：
Exocad、Blender for Dental、
Medit、Meshmixer

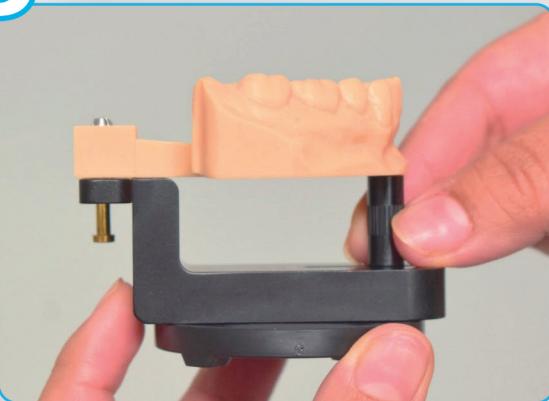
ソフトウェアで模型を設計し、プリントアウトして KDTA に装着します。

1

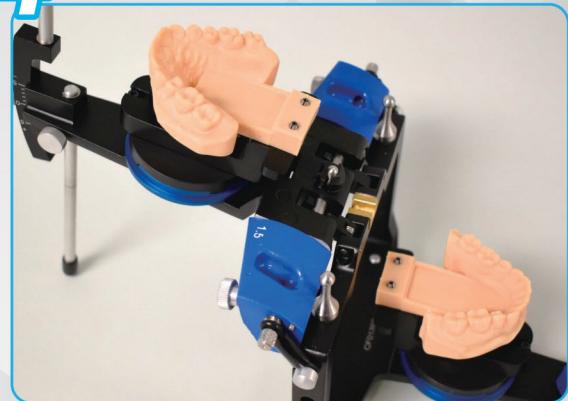
プログラムアタッチメント「4Pin Articulator FullArch Long H38W15D4」を使用して、3Dスタディキャストを作製します。

2

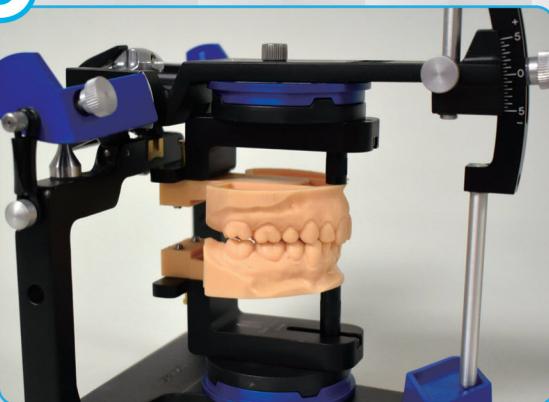
前方のサポートポストを緩め、希望の位置に調整してから締め直します。

3

作製された上顎および下顎のキャストを、それぞれの上部および下部のコイスクロマットランスファー アダプターのインデックスピンに取り付けます。

4

作製されたキャストを取り付けたコイスクロマットランスファー アダプターを、咬合器のフレームにあるマグネットプレートにインデックス(位置合わせ)します。

5

作製されたキャストを取り外すには、コイスクロマットランスファー アダプターと一緒に咬合器から取り外します。このとき、親指で中央のピンを押し上げながら、人差し指と中指で支えます。

6

作製されたキャストは、異なるテスト位置に移動させて、咬合器上で評価することができます。

